

第Ⅱ章 地域別構想

Ⅱ-1 地域別構想での地区区分

Ⅱ-2 地域別構想



第Ⅱ章 地域別構想

Ⅱ－1 地域別構想での地区区分

1 地域別構想の考え方

地域別構想は、全体構想に示した分野別の基本方針に基づき、地域ごとの課題に応じた、より身近なまちづくりの方向を示すものです。

具体的には、全体構想を踏まえ、市内各地域について、「地域の概況」、「地域の現状と課題」、「地域づくりの目標」、「地域まちづくり方針」などを示します。

2 地区区分の設定

地域区分の設定については、土地利用区分（都市的土地利用、自然的土地利用）や地域の特性、地形・地理的条件（小学校区、市役所支所及び出張所の状況等）を基本として、以下のように、「東部地域」、「中央地域」、「西部地域」の3地域に区分して設定します。

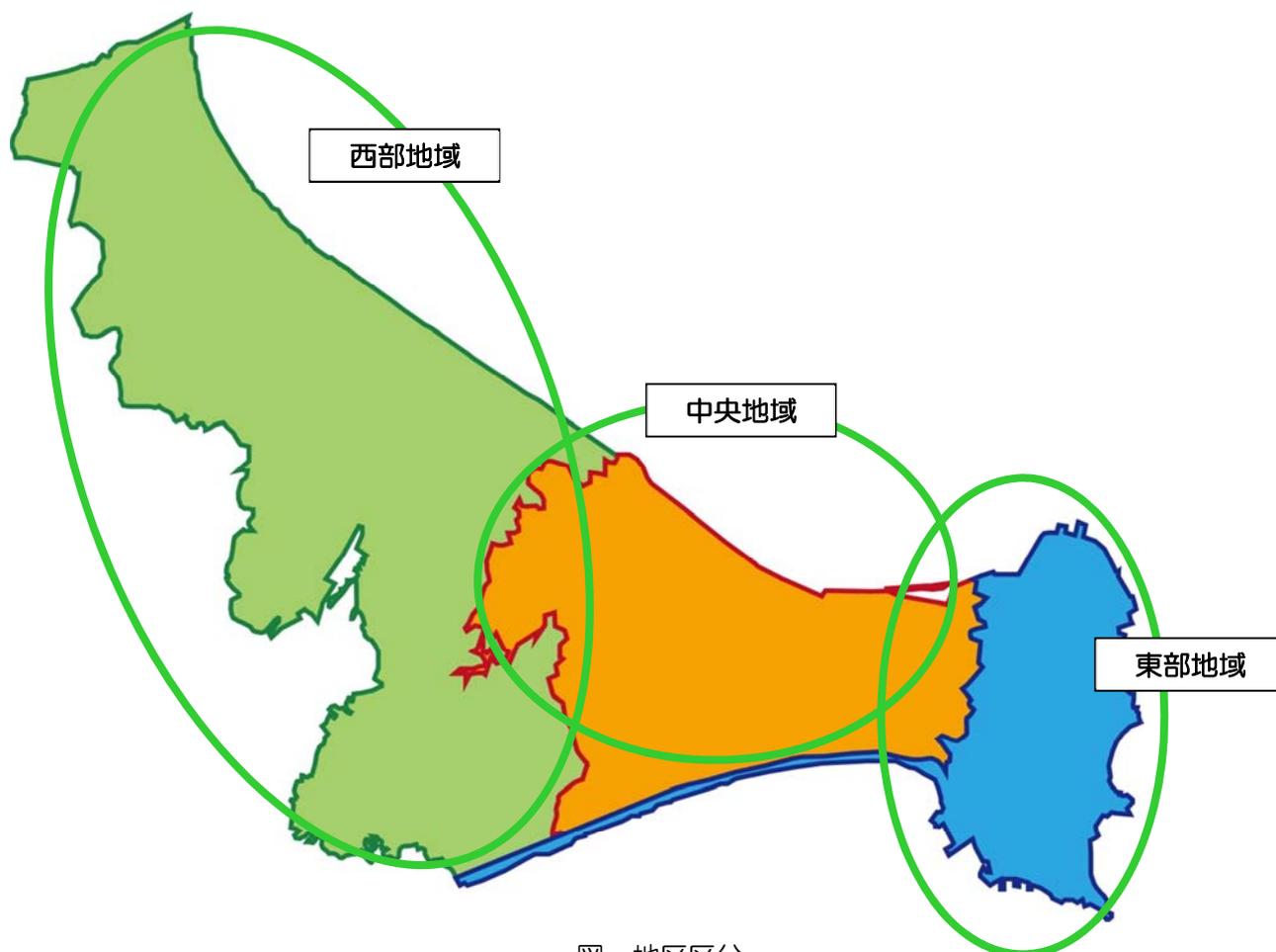


図 地区区分

Ⅱ-2 地域別構想

1 東部地域

① 地域の概況

(1)位置と地勢

本地域は市域の東部に位置し、三方を太平洋と利根川に囲まれています。利根川が海に注ぐ河口部一帯には、全国屈指の水揚げを誇る銚子漁港があり、埋立地を含む後背地には水産加工施設やその関連施設及び住宅群が広がっています。

最東端部には犬吠埼があり、風光明媚な海岸線と周辺地域は水郷筑波国立公園に指定されています。また、その内陸部には、本市で最も標高の高い愛宕山があり、その西側にはキャベツ栽培を中心とした畑地帯が広がっています。

地域東方の最南部には、江戸時代につくられた外川漁港があり、その傾斜地に外川の集落が広がっています。西方には名洗港があり、その埋立て造成した後背地には水産加工団地や銚子マリーナ、千葉科学大学が立地しています。さらに西方には、中央・西部地域に連なる断崖絶壁の屏風ヶ浦が続いています。



(2)人口と土地利用

〔人口・世帯数〕 住民基本台帳（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- 人 □ 25,439 人
- 世帯数 11,010 世帯
- 高齢化率 32.51%

〔土地利用〕

- 市街地（用途地域内） ・ 県道銚子公園線、外川港線沿線を中心に住宅市街地や水産加工施設が形成
- 市街地外（用途地域外） ・ 地域中央部から愛宕山周辺は、畑地帯とともに住宅地や集落地が分布

(3)交 通

〔道 路〕

- 都市内幹線道路（重複都市計画道路） ・ 一般県道 銚子公園線(川口町外川港線)、外川港線(後飯町外川港線)、愛宕山公園線
- 都市計画道路 ・ 整備済み 名洗港線 計 1 路線
- ・ 未整備 川口町三崎町線、新生外川港線ほか 計 8 路線（一部含む）

〔公共交通〕

- 鉄道
 - ・銚子電気鉄道 外川駅、犬吠駅、君ヶ浜駅、海鹿島駅、西海鹿島駅
笠上黒生駅、本銚子駅
- 高速バス
 - ・銚子～東京駅・浜松町線
- 路線バス
 - ・川口線、長崎線、千葉科学大学線、外川線、海鹿島線、岬めぐりシャトルバス

(4)主要施設及び地域資源

〔主要施設〕

- 教育施設
 - ・小学校 高神小学校、明神小学校、清水小学校
 - ・中学校 第一中学校、第二中学校
 - ・大学 千葉科学大学
- 公共公益施設
 - ・保育施設 第二保育所、第三保育所、海鹿島保育所、外川保育園
 - ・保健福祉施設 養護老人ホーム長崎園 ほか
 - ・文化、体育施設 市民センター
 - ・消防、警察 高神分遣所、犬吠駐在所 ほか
 - ・その他 銚子地方気象台、銚子海上保安部、銚子漁港事務所、銚子水産事務所 ほか

〔地域資源〕

- 観光資源
 - ・犬吠埼温泉郷、海鹿島、長崎、銚子マリーナ海水浴場、銚子マリーナ、地球の丸く見える丘展望館、銚子ポートタワー、ウオッセ21、君ヶ浜しおさい公園、東部不動ヶ丘公園、イルカ&クジラウォッチング ほか
- 自然環境
 - ・犬吠埼、君ヶ浜海岸（保安林）、長崎海岸、屏風ヶ浦や犬岩などの銚子ジオパーク
- 歴史資産、文化財
 - ・犬吠埼灯台、渡海神社、外川のまちなみ、川口神社、粟島台遺跡、犬若（義経伝説）、銚子萬祝式大漁旗、文学碑めぐり
- その他
 - ・銚子漁港、外川漁港、銚子電鉄、大潮まつり

② 地域の現状と課題

(1) 土地利用

〔現状〕

- 本地域の海岸沿いでは、水郷筑波国定公園に指定された犬吠埼をはじめとする海岸線や屏風ヶ浦などの豊かな自然、景勝地等が広がり、観光資源として活用されています。
- 川口、外川地区等には漁港や水産加工施設等が立地しています。また、丘陵部には畑地帯が広がり、これらと中央地域から引き続く市街地により、本地域は構成されています。
- 本地域には、犬吠埼灯台やウオッセ21をはじめ、交流の核となる観光資源が数多く存在していますが、日帰り・立ち寄り型観光地としての傾向が強くなっています。
- 千葉科学大学及び市民センターは、学術・芸術文化交流拠点として位置づけており、協働のまちづくりの拠点として期待されます。
- 高神地区周辺に広がるかつての水田地帯は、ほとんどが畑地に転換され、キャベツを中心とした野菜栽培が行われています。
- 銚子マリーナや潮見町水産加工団地を含む潮見町埋め立て地周辺は、名洗港を核に港湾として管理運営するための臨港地区が指定されているものの、現在では、千葉科学大学の立地など学術・芸術文化としての土地利用もされています。



市民センター

〔課題〕

- ◆海岸線や景勝地等の自然環境の維持、保全と観光資源としての活用、
- ◆産業の拠点である漁港周辺の整備、水産加工施設の集積及び観光との連携
- ◆学術交流拠点の有効活用と機能の充実
- ◆自然公園地域と重複した住居系用途地域での社会情勢に応じた適正な土地利用の対応
- ◆臨港地区の指定見直し

(2) 都市施設（道路・交通、公園・緑地等）

〔現状〕

- 都市内幹線道路
 - 県道銚子公園線が海岸線を巡り、県道愛宕山公園線（銚子ドーバーライン）が三崎町から天王台まで位置し、現在、犬吠埼への延伸が計画されています。
 - また、県道外川港線や市道1001号線等が市街地からの各拠点への連携軸として機能しています。
- 都市計画道路は、用途地域内を中心に9本が計画されていますが、長期間未整備な路線が多くみられ、将来的な必要性について検証が必要と思われます。
- 公共交通機関として、銚子電気鉄道が銚子駅から外川駅まで運行しており、地域内には観音駅を



県道銚子公園線

はじめ8駅が設置されています。また、路線バスはJR銚子駅を起点として、川口・ポートタワーへの路線のほか5路線が運行されており、高速バス路線も一部の便を除き、地域内まで乗り入れています。なお、銚子電気鉄道及び路線バスともに、近年、利用者の減少傾向が続いています。

○公園・緑地では、観光交流拠点内には君ヶ浜しおさい公園や銚子マリーナ海浜公園などが配置され、イベント会場としても利用されています。近隣住民向け公園としては、後飯町公園などもありますが、今後も地域バランスのとれた公園配置が求められます。

【課題】

- ◆銚子半島外周道路連結のため、県道愛宕山公園線（銚子ドーバーライン）や県道銚子公園線の整備促進及び市街地を形成する道路ネットワークの整備
- ◆公共交通機関の運行維持
- ◆海岸や利根川沿いの観光資源、自然資源等を安全で快適に回遊できる歩行者、自転車道ネットワークの形成
- ◆市街地や駅周辺における駐車場・駐輪場の適正配置
- ◆地域バランスのとれた公園の整備

(3) 都市環境（防災・防犯、下水道等）

【現状】

○川口、外川地区など、戦災による消失を免れた形成年代の古い市街地には、生活道路の拡幅など都市環境の改善を要する部分が存在しています。

○名洗・潮見地区等では東日本大震災の津波により銚子マリーナや水産加工団地に被害が生じており、海岸線や利根川河岸に近接する地域は、津波や高潮による浸水被害が想定されています。

○観光交流拠点では観光客のためのトイレ環境が不十分なところがあります。

【課題】

- ◆住宅地、集落地における居住環境の整備
- ◆住宅密集地の防災対策
- ◆海岸地域及び利根川近接地域の津波、高潮に対する避難経路等の防災・減災対策
- ◆観光客利用のためのトイレの維持管理と整備

(4) 自然・歴史環境

【現状】

○犬吠埼の白亜紀浅海堆積物が、国指定天然記念物に指定され、保護されています。また、犬吠埼や屏風ヶ浦を含む地質遺産や、地域の自然環境、歴史・文化等が銚子ジオパークに認定されています。

○外川のまちなみは、江戸時代から続く古き良き漁師町の風情を残しています。

○本地域には、古くからの歴史資産である文人たちの文学碑が数多くあり、まちなか歩き観光に利用されています。

○銚子電気鉄道は公共交通としての役割とともに、観光資源としても重要な役割を果たしています。



屏風ヶ浦の風景

【課題】

- ◆海岸地域、河川地域の自然環境、自然景観の保全と活用
- ◆歴史資産の保全と活用

(5)市街地活性化・都市景観形成

【現状】

- 地域の西側には、中央地域から引き続く市街地があり、一部密集した住宅地が広がっているなか、沿道商店などは社会経済環境の変化により衰退がみられます。
- 江戸時代につくられた外川漁港とその集落である外川のまちなみは、漁師町として銚子の懐かしい景観を残しています。

【課題】

- ◆外川のまちなみの景観保全



外川のまちなみ

③ 地域づくりの目標とまちづくりの方針

(1) 地域づくりの目標

〔将来地域像〕

『自然と地域資源を活かし観光・産業により賑わいのあるまち』

〔地域づくりの目標〕

- 豊かな自然や観光資源・歴史資産と共生した交流のあるまちづくり
- 豊かな産業を活かしたまちづくり
- 居住環境の整備による快適で暮らしやすいまちづくり

(2) まちづくりの方針

〔豊かな自然や観光資源・歴史資産と共生した交流のあるまちづくり〕

○観光交流の推進と地域の活性化

- ・観光交流拠点として位置づけられる犬吠埼周辺の海岸線、地球の丸く見える丘展望館から銚子マリーナ・屏風ヶ浦へ至る一帯及びウオッセ 21 周辺は、通年で利用される海洋リゾート地となるよう、観光施設の充実や銚子電気鉄道との連携、歩行者・自転車ネットワークの充実などにより観光交流機能の向上を図ります。また、水郷筑波国定公園の豊かな自然環境の保全と継承のもと、適正な土地利用と景観の形成を図ります。
- ・県道愛宕山公園線（銚子ドーバーライン）の延伸と県道銚子公園線等の整備促進により、銚子半島外周道路の連結を図り、観光・産業道路として交通利便性の強化を進めます。また、豊かな自然と調和した沿道景観づくりとして、水と緑のネットワーク化も推進します。
- ・銚子マリーナ周辺は、屏風ヶ浦や銚子マリーナ海浜公園、千葉科学大学キャンパスなどの集積と広いオープンスペースを活かし、スポーツ・海洋レクリエーションなど、大規模なイベントによる観光交流の拠点として、積極的に活用します。また、イルカ・クジラウォッチングなどの体験型観光資源の拠点として、更なる機能の充実を図ります。
- ・屏風ヶ浦、犬岩、犬吠埼、黒生地区に広がる銚子ジオパークを保全していきます。また、この雄大な景勝地を直接感じてもらうため、交通利便性・快適性の向上に努めるなど、観光資源としての環境づくりに努めます。



銚子マリーナ海水浴場

○景観資産の維持と環境づくり

- ・外川のまちなみは、懐かしい漁村の営みを残す景観資産として保全し、観光への活用も図ります。
- ・銚子電気鉄道を観光資源の一つとして活用するため、鉄道や駅、沿線の魅力の創出に努めるとともに、鉄道設備を対象とした支援を国・県と協調して実施します。

- ・犬吠埼など愛宕山周辺をはじめとする観光資源は、さらなる魅力の創出のため、自然環境の保全とともに、来訪者が観たい景色を心地よく観る事が出来るよう、視点の確保など観る場所の環境整備にも努め、良好な景観形成を図ります。

■主な施策

- ◆通年型観光地への展開（観光施設の充実、歩行空間の整備促進や歩行者・自転車ネットワークの充実、外国人観光客受け入れのための環境整備など）
- ◆銚子半島外周道路の整備促進（県道愛宕山公園線の延伸と県道銚子公園線等の整備）
- ◆スポーツ・海洋レクリエーション拠点づくり（銚子マリーナ周辺）
- ◆雄大な景勝地の保全と環境づくり（良好な景観づくり、散策コースの整備、ジオツアーなど）

〔豊かな産業を活かしたまちづくり〕

○漁業環境の維持・活用

- ・銚子漁港第二・三卸売市場は大規模な流通・加工機能を兼ね備えた総合漁業基地として、生産環境の整備や川口・黒生地区への水産加工関連産業の集積を図るとともに、ウオッセ21 やポートタワーなど観光施設との連携により地域の活性化も推進します。
- ・外川漁港は、沿岸漁業の拠点港としての整備を促進するとともに、釣船・釣宿の集積を図り体験型観光の拠点として活用していきます。



銚子漁港第三卸売市場

○地域資源を活かした魅力づくり

- ・洋上風力発電の実用化に向けた取り組みを推進し、自然環境に配慮した新たな再生可能エネルギー産業の活用の可能性を検討するとともに、イルカ・クジラウォッチング船などにより観光への活用を図ります。
- ・千葉科学大学や市民センター等、既存施設を有効に活用し、文化、教育、芸術活動など多彩な交流機能の充実を図り、地域の活性化に努めます。
- ・高神地区周辺に広がる農地・集落地は、無秩序な市街化を抑制するとともに、農業環境と調和した良好な居住環境づくりを図ります。

■主な施策

- ◆総合漁業基地の充実と活用（銚子漁港第二・三卸売市場の施設集積と観光との連携）
- ◆外川漁港の整備促進と地域の活性化
- ◆高神地区周辺における優良農地の保全

〔居住環境の整備による快適で暮らしやすいまちづくり〕

○良好な居住環境の維持・向上

- ・地域内に広がる住宅地では、生活道路や公園など都市基盤の計画的な維持・整備に努め、良好な居住環境の向上を図ります。
- ・君ヶ浜しおさい公園周辺及び小畑池周辺の水と緑豊かな自然・生態系は保全しつつ、憩いの場としての環境づくりと施設の適正管理に努めます。
- ・犬吠埼や海鹿島などに広がる風致地区は、時代に即した適正な形成・保全を図ります。また、自然公園地域と重複した用途地域は、自然との調和を図りながら、有効な土地利用に向けて、地域の特性に応じた土地利用を進めます。



君ヶ浜しおさい公園

○快適な移動環境づくり

- ・第一、二中学校区の児童・生徒の通学や高齢者などの日常生活の移動手段として、銚子電気鉄道や路線バスの運行維持に努めるとともに、路線バス運行対象の道路整備にも努めていきます。
- ・市街地からの主要な交通連携軸となる県道外川港線と市道 1001 号線などは、快適な移動環境を確保するための道路整備とともに、秩序ある沿道景観づくりにも取り組みます。また、未整備の都市計画道路については、今後の社会経済情勢や交通量の予測などを踏まえ、路線の見直しを行っていきます。

○安心して暮らせるまちづくり

- ・各地区コミュニティセンターなど地域の活動拠点となる施設は、利用者の利便性・快適性を図るため、歩行空間の確保やバリアフリー化を推進します。
- ・公共公益施設及び上下水道等のライフラインは、震災等に備えて耐震化・不燃化を図るとともに、地域防災計画に基づき、避難路や避難場所の確保・整備等を行っていきます。
- ・津波対策となる海岸保全施設の整備については、自然環境との調和を十分配慮しながらも、市民の安全を第一に考えた対策に取り組んでいきます。

■主な施策

- ◆生活道路や公園など都市基盤の維持・整備
- ◆君ヶ浜しおさい公園周辺の自然・生態系の保全と活用に向けた環境づくり
- ◆社会情勢変化に応じた自然公園、風致地区内の土地利用の適正化
- ◆銚子電気鉄道や路線バスの運行維持
- ◆社会情勢や交通量予測を踏まえた都市計画道路の見直し
- ◆防災・減災対策及び防犯・安全対策の推進（自然環境に配慮した海岸保全施設の整備、避難場所の確保など）



**豊かな自然や観光資源・歴史資産と
共生した交流のあるまちづくり**

○観光交流の推進と地域の活性化

- ・犬吠埼周辺の観光交流拠点の機能充実と景観形成
- ・銚子半島外周道路の連結による交通利便性の強化
- ・銚子マリナーナ周辺の観光交流の推進と体験観光の充実
- ・銚子ジオパークの保全と観光資源としての環境づくり

○景観資産の維持と環境づくり

- ・外川のまちなみを景観・観光資源として保全・活用
- ・銚子電気鉄道の観光資源としての活用
- ・愛宕山周辺の自然環境保全と景観環境づくり

豊かな産業を活かしたまちづくり

○漁業環境の維持・活用

- ・銚子漁港卸売市場の関連産業集積と観光との連携
- ・外川漁港の漁業拠点、体験型観光拠点としての整備・活用

○地域資源を活かした魅力づくり

- ・洋上風力発電など再生可能エネルギー産業の誘導と観光への活用
- ・市民センター等における交流機能充実と地域活性化
- ・高神地区周辺の農地・集落地での無秩序な市街化を抑制



居住環境の整備による快適で暮らしやすいまちづくり

○良好な居住環境の維持・向上

- ・生活基盤の維持・整備による居住環境の向上
- ・風致地区、自然公園地域の土地利用の適正化
- ・水と緑豊かな自然・生態系の保全と活用

○快適な移動環境づくり

- ・銚子電気鉄道や路線バスの運行維持
- ・主要軸となる県道等の整備と秩序ある景観づくり
- ・必要に応じた都市計画道路の見直し

○安心して暮らせるまちづくり

- ・地域の活動拠点施設でのバリアフリー化の推進
- ・施設の災害対策と避難路や避難場所の確保・整備
- ・自然との調和に配慮した海岸保全施設の整備

凡例

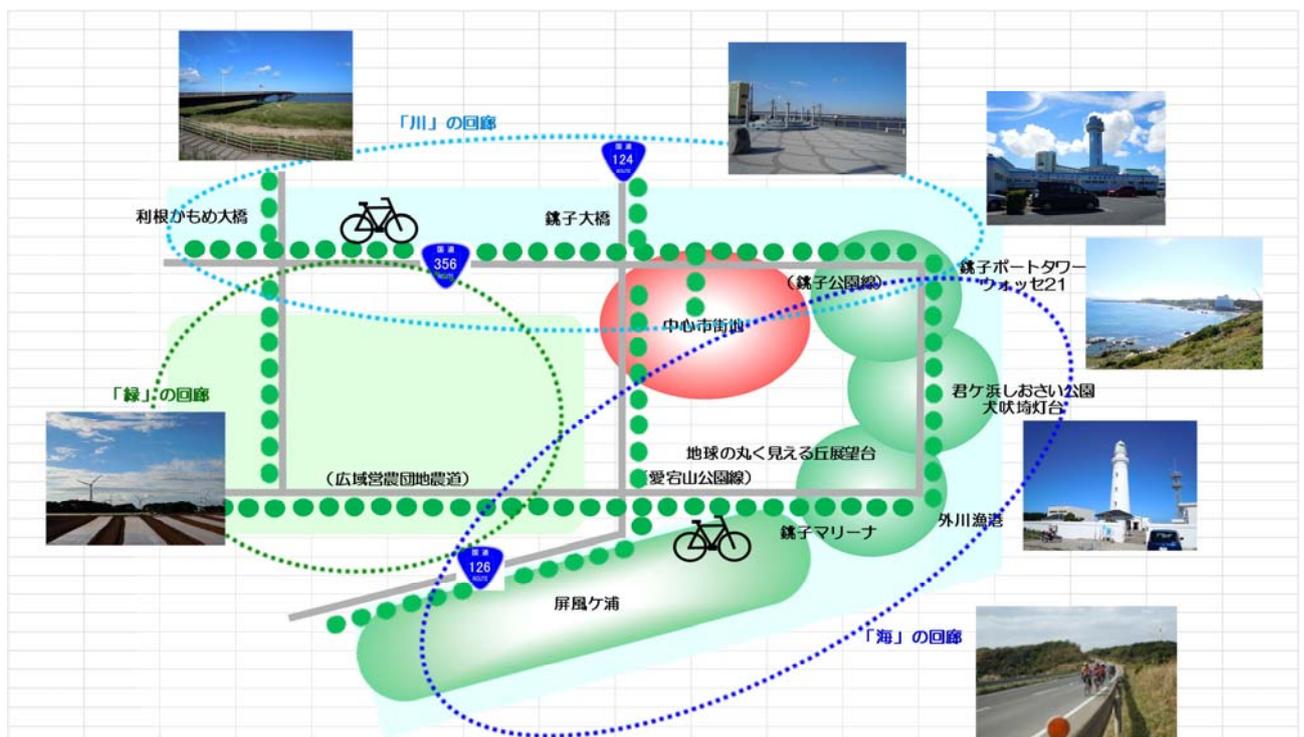
	住宅地		都市交流核
	商業業務地		広域交流拠点
	沿道サービス地		産業交流拠点
	工業・産業業務地		観光交流拠点
	農地		学術・芸術文化交流拠点
	集落地		主要な施設
	丘陵地・森林		学校教育施設
	斜面緑地		歴史文化資産
	主な公園・緑地		水と緑のネットワーク
	国定公園区域 県立自然公園		
	鉄道		
	広域幹線道路		
	都市内幹線道路		
	行政界		
	地域界		
	用途地域		

図 東部地域のまちづくり方針

【参考：20年後の東部地域のイメージ】

- 県道愛宕山公園線（ドーバーライン）や銚子公園線などの整備により、銚子半島外周道路が連結したことで、観光拠点相互の連絡性が改善されています。また、利根川堤防沿いから犬吠埼、屏風ヶ浦までの景勝地をめぐる自転車道ネットワークや散策路の整備が進み、銚子電鉄やシャトルバスとの接続も便利になったことで、半島周遊型の交流人口の増加に寄与しています。
- 銚子ポートタワー・ウオッセ 21、君ヶ浜しおさい公園・犬吠埼、外川漁港・銚子マリーナなどの観光拠点では、それぞれの特性を活かした「観る」「遊ぶ」「学ぶ」「食べる」などの個性的な観光コンテンツや文化交流の発信地として、固有の美しさと調和した店舗やカフェとともに交流施設の集積と多彩な交流が進んでいます。
- 川口・黒生地区への水産加工関連産業の集積や生産環境の整備が進むとともに、新たに整備された銚子漁港第一卸売市場との連携により、銚子漁港第二・三卸売市場は大規模な流通・加工機能を兼ね備えた総合漁業基地として活気に満ちています。
また、ウオッセ 21 など水産観光施設ほか、洋上風力発電施設と連携する取り組みが進められています。
- 市街地では、住民との協働による用途地域の見直しや生活道路・小公園などの整備が進められ、無秩序な市街化が抑制されるとともに、近くにお店や診療所もでき、暮らしやすい環境づくりが図られています。なお、外川地区では、懐かしい漁村の営みを残すまちなみの形成に向けた取り組みが住民とともに進められ、建築物の修復や改築が進んでいます。
- 集落地等では、農地や丘陵地が保全・継承され、新鮮な農産物供給地であるとともに、銚子電鉄の沿線農地等の景観資源、野鳥の営業地などとして機能し、潤いややすらぎのある空間形成が図られています。

【自転車ネットワークの整備概念図】



2 中央地域

① 地域の概況

(1)位置と地勢

本地域は、市域の中央部に位置し、北側は利根川に面し、南側は北総台地が広がり、南側は屏風ヶ浦の断崖が連なるかたちで続いています。

利根川沿いの平坦地では、東側には東部地域と連続するかたちで古くから港町として発達してきた産業と市役所やJR銚子駅の立地など人口の集積地として中心市街地が形成されています。

その西方は国道356号をはじめとした市域の骨格をなす幹線道路の沿線を中心に集落が広がるほか、その周囲に水田や畑地が混在するかたちで広がっています。

南側の下総台地の丘陵地には、キャベツ・ダイコン栽培を中心とした畑地帯が広がり、国道126号沿線に商業地や集落が形成されています。



(2)人口と土地利用

〔人口・世帯数〕 住民基本台帳（平成25年4月1日現在）

- 人 □ 30,259人
- 世帯数 12,429世帯
- 高齢化率 29.96%

〔土地利用〕

- 市街地（用途地域内） ・ JR銚子駅周辺、国道126号及び国道356号沿線を中心に商業施設や住宅市街地、醤油醸造等の工場が立地
- 市街地外（用途地域外） ・ JR総武本線沿線には田園地帯が広がり、丘陵地に畑地と集落地により形成

(3)交通

〔道路〕

- 広域幹線道路（重複都市計画道路） ・ 国道 国道124号、国道126号(唐子町春日町線)、国道356号(清水町松岸町線)
- 都市内幹線道路（重複都市計画道路） ・ その他 広域営農団地農道
- 都市計画道路 ・ 主要地方道 銚子停車場線(清水町松岸町線、銚子駅前線)
- ・ 一般県道 銚子公園線(飯沼長塚町線、長塚町通町線)、外川港線(清水町松岸町線)、飯岡松岸停車場線
- 都市計画道路 ・ 整備済み 銚子駅前線、唐子町春日町線ほか 計10路線
- ・ 未整備 長塚町見晴台線、銚子駅台町線ほか 計8路線（一部含む）

〔公共交通〕

- 鉄 道
 - ・ JR 総武本線 銚子駅、松岸駅
 - ・ 銚子電気鉄道 銚子駅、仲ノ町駅、観音駅
- 高速バス
 - ・ 銚子～東京駅・浜松町線、銚子～千葉・幕張線
 - ・ 銚子～京都・大阪線
- 路線バス
 - ・ 春日台線、旭～銚子線、豊里ニュータウン線、イオンシャトルバス、長崎線、川口線 ほか

(4)主要施設及び地域資源

〔主要施設〕

- 教育施設
 - ・ 幼稚園 本城幼稚園、春日幼稚園、海上幼稚園 ほか
 - ・ 小学校 本城小学校、春日小学校、海上小学校、双葉小学校、飯沼小学校
 - ・ 中学校 第三中学校、第五中学校、銚子中学校
 - ・ 高校 県立銚子高校、県立銚子商業高校、市立銚子高校
 - ・ 特別支援学校 県立銚子特別支援学校
- 公共公益施設
 - ・ 市役所
 - ・ 保育施設 第四保育所、銚子保育園、松岸保育園、聖母保育園、銚子中央保育園
 - ・ 保健福祉施設 銚子市立病院、保健福祉センター「すこやかなまなびの城」、海匠健康福祉センター（保健所）、社会福祉協議会、三崎園、わかば学園、福祉作業所のぞみ ほか
 - ・ 消防、警察 銚子消防署、銚子警察署、ほか
 - ・ 文化、体育施設 青少年文化会館、体育館、野球場、公正図書館、スポーツコミュニティセンター
 - ・ その他 銚子郵便局、銚子税務署、銚子土木事務所、銚子市清掃センター、銚子市衛生センター ほか

〔地域資源〕

- 観光資源
 - ・ 河岸公園、中央みどり公園、七ツ池 ほか
- 自然環境
 - ・ 利根川河口の景観
- 歴史資産、文化財
 - ・ 妙福寺（臥龍の藤）、宝満寺（桜）、飯沼観音、銚子ちぢみ ほか
- その他
 - ・ 醤油工場、銚子電鉄、みなとまつり、黒潮よさこい祭り ほか

② 地域の現状と課題

(1) 土地利用

〔現状〕

○本地区は市の中央部に位置し、戦後に行われた銚子都市計画復興土地区画整理事業による市街地と、西側丘陵地に広がる肥沃な畑地により構成されています。

○本地区には、市役所や税務署、郵便局、保健所など公共施設が集中しており、本市の都市活動の中心的役割を担っています。しかし、中心市街地では、人口減少や大型商業施設の撤退などにより、経済活動の停滞が顕著となっています。

○産業では、醤油工場と銚子漁港第一卸売市場が立地し、市の基幹産業を担っています。

○三崎地区には、大規模商業施設が立地し、広域交流拠点としての機能が期待されています。しかし、その反面、中心市街地の更なる空洞化が懸念されます。

○学術・芸術文化交流拠点として位置付ける青少年文化会館では、文化芸術のイベント会場としての活用のほか、災害時には避難所として機能しています。

○地域内の丘陵地には優良な農地である畑地が広がり、JR 総武本線沿線には水田地帯が広がっています。

○松岸駅南側や松本町の準工業地域では、住宅地化が進んでいます。



県道外川港線と沿線市街地

〔課題〕

- ◆中心市街地への都市機能集積と交流促進
- ◆広域交流拠点として位置づけている三崎地区と中心市街地との連携強化
- ◆JR 銚子駅前をはじめとする市街地における商業地域の活性化
- ◆銀座通り商店街等の賑わいの復活
- ◆産業交流拠点である銚子漁港第一卸売市場周辺の整備促進と観光との連携
- ◆市街地の空き地、空き家及び空き店舗の適正利用
- ◆丘陵地に点在する遊休農地（谷津田等）の有効活用
- ◆住居系土地利用の適正化

(2) 都市施設（道路・交通、公園・緑地等）

〔現状〕

○広域幹線道路

中心市街地からは、国道 126 号・124 号が南北へ、356 号が西へ伸び、主要広域幹線として機能しています。なお、通勤時間帯の一部区間で渋滞発生がみられますが、現在バイパス整備が進められており、渋滞解消が期待されます。



国道 126 号

○都市内幹線道路

三崎町地区（広域交流拠点）では、国道 126 号に交差する形で、県道愛宕山公園線から広域営農団地農道が東西の広域・都市内幹線として機能しています。

その他には、東部地域に通じる県道外川港線などが都市内幹線の機能を担っています。

○都市計画道路は、銚子駅北側の市街地はほぼ整備済みですが、銚子駅南側の地域については長期間未整備の路線が多くあり、今後は将来的な必要性について検討が必要と思われます。

○地域内には、JR 総武本線及び成田線の銚子駅、松岸駅が設置されており、銚子電気鉄道の銚子駅、仲ノ町駅も設置されています。また、路線バスも JR 銚子駅を起点に数多くの路線が運行され、併せて東京方面等に向けた高速バスも運行されています。

○公園・緑地については、中心市街地はある程度の近隣住民向けの公園が配置されていますが、その他の地域では不足している状況がみられます。なお、河岸公園や中央みどり公園では、市民の憩いの場としての利用だけでなく、イベント会場としても利用されています。

【課題】

- ◆国道 356 号バイパスや広域営農団地農道など広域交通網の整備促進
- ◆市街地を形成する道路ネットワークの強化（長期末整備の都市計画道路の見直し）
- ◆公共交通機関の運行維持
- ◆歩道のバリアフリー化など日常生活圏における安全で安心な移動環境づくり
- ◆市街地や駅周辺における駐車場・駐輪場の適正配置
- ◆地域バランスのとれた公園配置と既存公園の整備・管理
- ◆緑化の推進

(3) 都市環境（防災・防犯、下水道等）

【現状】

○本地域は、主な生活基盤の整備は実施済みですが、老朽化等に伴う改修を必要とする施設もみられます。

○古くからある住宅地においては、生活道路の拡幅など改善を要する部分が存在します。

○利根川河岸に近接する地域は、洪水や河川遡上した津波による浸水被害が想定されています。

○滑川、八幡川等では、時折、道路冠水がみられ、集中豪雨の際には水害も生じることがあります。

○地震による液状化に注意を要する箇所が、利根川河岸に近接する地域等に存在します。



【課題】

- ◆住宅地、集落地における居住環境の整備
- ◆利根川近接地域での津波対策
- ◆中小河川整備や排水施設整備による水害対策の推進
- ◆防災拠点である市役所、消防署等の防災機能強化

(4)自然・歴史環境

〔現 状〕

○中心市街地周辺には利根川河口の景観が一望できる河岸公園や妙福寺、また産業交流拠点でもある醤油工場など、まちなか歩きに適した自然、歴史資産が存在します。

〔課 題〕

- ◆水辺環境の保全と活用
- ◆伝統的な歴史資産や文化財の保全と観光交流への活用



河岸公園と河口の景観

(5)中心市街地活性化・都市景観形成

〔現 状〕

○本地区は戦後に行われた銚子都市計画復興土地区画整理事業により、都市基盤の整備が進んだ地域であり、その後も銚子駅前通りシンボルロード事業等により、都市基盤整備を進めてきましたが、近年における社会経済情勢の変化の中で、経済活動の中心が遷移し、衰退・空洞化が進んでいます。

○本地区は古くから漁業や醤油醸造業、利根水運の拠点として栄え、それらに関連した商業機能が集積されています。なお、銚子漁港第一卸売市場が新たに高度衛生管理型市場として整備が進められています。

○飯沼観音は、歴史資産として銚子の懐かしい景観を残しています。

〔課 題〕

- ◆商店街の活性化
- ◆行政サービス機能や災害時の救援、救護活動の拠点機能の充実
- ◆景観に配慮した都市機能の集積、強化
- ◆まちなかに居住する高齢者等が快適に暮らし続けられる環境づくり
- ◆新銚子漁港第一卸売市場を活用した観光振興
- ◆都市交流核にふさわしい市街地景観づくり
- ◆飯沼観音の歴史資産としての保全



県道外川港線とその沿線

③ 地域づくりの目標とまちづくりの方針

(1) 地域づくりの目標

〔将来地域像〕

『都市機能を活かした交流と活力のあるまち』

〔地域づくりの目標〕

- 中心市街地の都市機能集積による効率的なまちづくり
- 商業・産業などの活性化による賑わいのあるまちづくり
- 暮らしやすさを感じられる快適な居住環境の整備

(2) まちづくりの方針

〔中心市街地の都市機能集積による効率的なまちづくり〕

○賑わいと交流があふれる都市交流核の形成

- ・ 銚子駅北側に広がる中心市街地は、商業・業務、行政・文化、医療など機能集積と都市基盤を有効に活用した土地利用を図ります。また、地域ニーズに応じた商業、観光機能の強化と市民生活・行政サービス機能の充実により都市交流核としての賑わいの創出に努めます。
- ・ 商業地域としての土地利用を基本としながらも、市民の生活を支える日常的な商業・サービス施設の誘導を進め、広域交流拠点（三崎町）にある大型商業施設や沿道サービス施設との差別化を図ります。
- ・ 中心市街地から西部地域へのアクセス向上のため、国道356号バイパス整備を推進するとともに、観光・産業交流拠点に位置づけられている川口町、犬吠埼、銚子マリーナ（名洗町）方面へのアクセス向上のための県道・市道整備など、地域間の交通連携軸を強化します。また、JR総武本線・成田線や高速バスその他交通機関のダイヤ改善等により、交通結節機能の強化も図ります。
- ・ 高齢者支援・介護福祉や託児・子育て支援などの施設整備を誘導し、高齢者が過ごしやすく、子育て世代の女性が働きやすい環境づくりに努めます。また、これら機能に適合する居住空間を市街地に誘導することにより、安心して暮らせる住まいの確保も推進します。
- ・ 駅前・本通り・銀座通り商店街の活性化を図るため、空き店舗には多様な形態の起業・出店支援や地域ニーズに応じたコミュニティ施設への活用、空き地にはまちなか歩き観光や市民の買物利用に必要な共同駐車場や憩いの場となる市民緑地などへの活用を検討します。また、新たに整備される銚子漁港第一卸売市場との連携による人の流れの創出にも取り組みます。



銚子駅前通りの商業集積



銀座通りの商業集積

○既存施設を活かした機能と魅力の強化

- ・新たに建設する消防庁舎や市役所等を拠点として、災害時の救援・救護活動の機能充実を図ります。
- ・銚子駅から望めるシンボルロード沿道と利根川・銚子大橋は市を代表する景観であり、建築物の意匠、形態、色彩の統一化など、引き続きシンボルとなる景観形成のため、景観条例や屋外広告物設置基準見直しの検討をします。また、その他の道路沿線についても、電線地中化や街路樹の適正管理及び計画的補植により良好な沿道景観づくりも推進します。
- ・歩道のバリアフリー化などまちなかを快適に移動できるよう、歩行空間の向上に努めるとともに、駐車場・駐輪場の適正な配置と公共交通との連携によるまちなか歩き観光を促進します。

■主な施策

- ◆商業・観光機能の強化
- ◆市民生活・行政サービス機能の充実（都市機能集約や高齢者・子育て支援充実など）
- ◆地域間の交通連携軸の強化（国道 356 号バイパス、県道・市道整備）
- ◆駅前・銀座商店街の活性化（空き店舗対策、空き地の市民緑地化の検討など）

〔商業・産業などの活性化による賑わいのあるまちづくり〕

○産業集積を活かした特色ある土地利用の維持と誘導

- ・広域交流拠点として位置づけた三崎町の国道 126 号沿線の大規模商業施設周辺は、県道愛宕山公園線～広域営農団地農道が交差する地理的優位性を活かし、市外からも多くの人々を惹きつける広域的な商圈を対象とした新たな拠点機能の集積を促進します。また、適正な土地利用を図るため、必要な都市計画制度の適用を検討します。
- ・広域交流拠点（三崎町）と中心市街地の連携を図るため、路線バス運行の維持・強化を図ります。
- ・銚子漁港第一卸売市場は、本市の重要な産業交流拠点として整備を促進するほか、観光資源として活用するため、銀座通りや飯沼観音周辺地域との連携を図り、観光客用の駐車場確保などに努めます。
- ・醤油醸造業は、江戸時代から市の重要な基幹産業として本市の経済の発展と雇用を支えてきました。今後も継続して良好な操業環境を確保し、雇用の促進が図られるよう、工場用地としての機能保全に努めます。あわせて、周辺の住環境との調和と周辺環境の整備に努めます。
- ・国道 356 号沿線の土地利用は、周辺環境と調和しながら、沿道商業・業務サービス施設の立地など、地域特性に応じた適正な土地利用の誘導を図ります。
- ・丘陵地では自然景観との調和を図りながら、風力発電施設や太陽光発電施設など、再生可能エネルギー産業の誘導を図り、新たな産業系土地利用の検討をします。また、観光資源との連携も図っていきます。



新たな銚子漁港第一卸売市場



醤油醸造工場

○観光交流の活性化

- ・ 銚子電気鉄道及びその各駅や飯沼観音など寺社仏閣、伝統ある醤油工場など歴史的な資産を保全しながら、これら観光資源をめぐるまち歩き観光への活用を図ります。

■主な施策

- ◆三崎地区への適正な土地利用誘導（都市計画制度の適用検討）
- ◆銚子漁港第一卸売市場の観光活用と銀座通り商店街周辺地域との連携
- ◆地域資源の活用のための取組み（銚子電鉄駅、醤油工場、飯沼観音などの保全）
- ◆主要観光資源を結ぶ歩行空間の環境整備

〔暮らしやすさを感じられる快適な居住環境の整備〕

○地域特性に応じた日常生活圏のまちづくり

- ・ 地域内の居住地では、生活道路や公園など都市基盤の計画的な維持・整備に努め、良好な居住環境の向上を図ります。
- ・ 第三、銚子中学校区の児童・生徒の通学や高齢者などの日常生活の移動手段として、銚子電気鉄道や路線バスの運行維持を図ります。
- ・ 清水川（清川町第二公園）や七ツ池などの自然や生態系を保全し、憩いの場となる環境整備を図りながら、市民と協働で親水空間の魅力創出に取り組めます。
- ・ 銚子市を印象付ける幹線道路沿いの広場や植栽帯への花木植栽など、市民と協働で緑化・美化運動を推進し、潤い・やすらぎのある景観まちづくりに努めます。



○社会情勢の変化に応じた都市計画の見直し

- ・ 用途地域の指定がなく住宅化や商業化の進む見込みのある地域や、指定された用途地域と異なる土地利用状況が生じている地域では、用途地域の見直しや地区計画など都市計画制度の活用を検討し、良好な居住環境の維持保全を図ります。
- ・ 既存の都市公園は市民が気持ち良く利用できるような施設の維持管理を図ります。また、長塚緑地など未整備の都市計画公園は、社会経済情勢による周辺状況の変化や地域ニーズなどを踏まえ、計画内容の見直しを図ります。
- ・ 未整備の都市計画道路については、今後の社会経済情勢や交通量の予測などを踏まえ、路線の見直しを行います。

○安心して暮らせるまちづくり

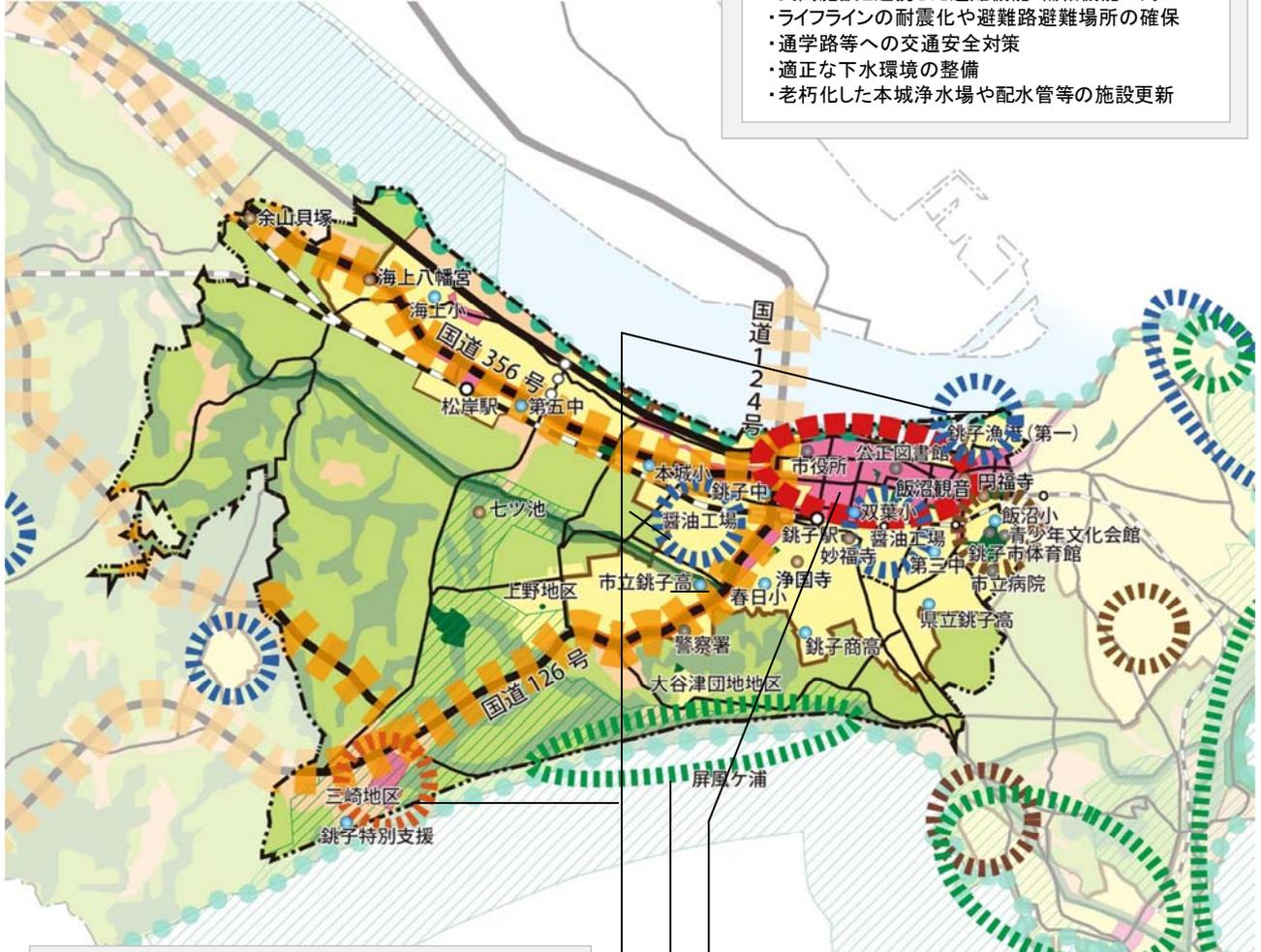
- ・ 災害等で迅速に対応できるよう千葉科学大学やイオンモールなどと連携して、周辺からの避難機能とともに補給機能の向上を図ります。
- ・ 災害への対応として、中小河川の治水対策、急傾斜地崩壊危険区域の整備、公共公益施設や上下水道等のライフラインの耐震化・不燃化を図るとともに、地域防災計画に基づき、避難路や緊急輸送道路、避難場所の確保・整備を進めていきます。
- ・ 下水処理については、汚水処理適正化構想を踏まえ、下水道整備や合併処理浄化槽の普及により適正な下水環境を推進します。
- ・ 安全で安定した水供給のため、老朽化した本城浄水場や配水管等の適正な施設更新を進めます。

■主な施策

- ◆生活道路や公園など都市基盤の維持・整備
- ◆防災・減災対策及び防犯・安全対策の推進（避難場所の確保、通学路安全対策など）
- ◆居住環境の保全と適正土地利用の誘導（都市計画制度の適用の検討）
- ◆社会情勢変化に応じた都市計画道路、都市公園の見直し



凡 例			
	住宅地		都市交流核
	商業業務地		広域交流拠点
	沿道サービス地		産業交流拠点
	工業・産業業務地		観光交流拠点
	農地		学術・芸術文化交流拠点
	集落地		主要な施設
	丘陵地・森林		学校教育施設
	斜面緑地		歴史文化資産
	主な公園・緑地		水と緑のネットワーク
	国定公園区域 県立自然公園		
	鉄道		
	広域幹線道路		
	都市内幹線道路		
	行政界		
	地域界		
	用途地域		



暮らしやすさを感じられる快適な居住環境の整備

○地域特性に応じた日常生活圏のまちづくり

- ・生活道路や公園など都市基盤の維持・整備
- ・銚子電気鉄道や路線バスの運行維持
- ・七ツ池等の自然生態系の保全と親水空間の創出

○社会情勢の変化に応じた都市計画の見直し

- ・住環境等保全のため適正な土地利用誘導方策検討
- ・長期未整備な都市計画道路、公園の見直し

○安心して暮らせるまちづくり

- ・民間施設と連携した避難機能・補給機能の向上
- ・ライフラインの耐震化や避難路避難場所の確保
- ・通学路等への交通安全対策
- ・適正な下水環境の整備
- ・老朽化した本城浄水場や配水管等の施設更新

商業・産業などの活性化による賑わいのあるまちづくり

○産業集積を活かした特色ある土地利用の維持と誘導

- ・国道126号沿線の大規模商業施設周辺の機能充実
- ・拠点間の路線バス運行の維持・強化
- ・(新)銚子漁港第一卸売市場の整備促進と周辺施設と連携した観光資源としての活用
- ・醤油醸造業の操業環境の保全と工場周辺との調和
- ・地域特性に応じた適正な土地利用の誘導

○観光交流の活性化

- ・歴史資産の保全とまちなか歩き観光への活用
- ・屏風ヶ浦の保全と観光資源としての環境づくり

中心市街地の都市機能集積による効率的なまちづくり

○賑わいと交流があふれる都市交流核の形成

- ・地域ニーズに応じた商業、観光機能の強化
- ・市民生活・行政サービス機能の充実
- ・地域間の交通連携軸、交通結節機能の強化
- ・高齢者支援や子育て支援への環境づくり
- ・駅前・銀座通り商店街の空き店舗対策

○既存施設を活かした機能と魅力の強化

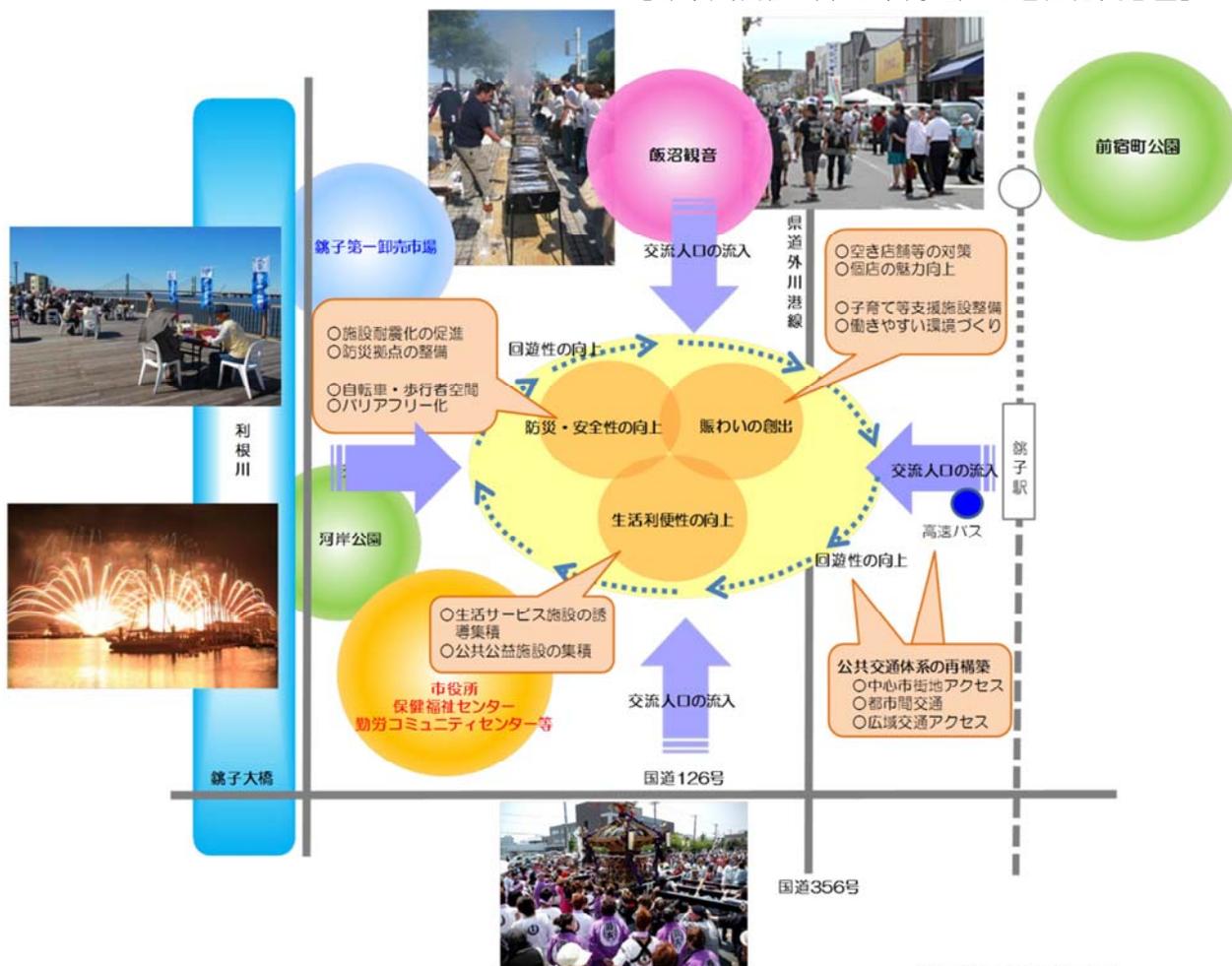
- ・(新)消防庁舎や市役所による救援・救護機能充実
- ・シンボルロードを中心とした沿道景観づくり
- ・歩行空間の向上と駐車場・駐輪場の適正な配置

図 中央地域のまちづくり方針

【参考：20年後の中央地域のイメージ】

- 道路の骨格をなす国道356号バイパスや広域営農団地農道などが整備され、朝夕の交通渋滞の解消とともに、周辺地域や市内各地域とのアクセスが容易となり、業務活動や少し離れた住宅地などからも買物やサークル活動などで訪れる人が多くなりました。
- 銚子駅前通りや銀座通りなどの道路沿いでは、広場や植栽帯での緑化・美化活動とともに、新しい銚子漁港第一卸売市場の整備や店舗の跡地開発などを契機として、空き店舗の有効活用による魅力的な店舗の出店やイベント・サークル活動が盛んに行われており、趣味や買物、まちなか歩き観光などで訪れる人々で賑わいが戻ってきました。
- 中心市街地として、福祉、医療、買物などの施設が徒歩圏内に充実しており、車が無くても不自由なく、安心して暮らせることから、既存建物の改築等を契機とした店舗併用住宅化などにより、若者や子育て世代、高齢者など多様な世代の居住者が増えてきています。また、主要な道路沿いでは電線類の地中化や、屋外広告物・街路樹などの景観ルール作りが市民協働で進められ、開放的で魅力あるまちなみが広がります。住宅地等では、住民との協働による用途地域の見直しや地区計画制度の適用が図られ、密度の高い市街地や生活道路などの整備により、居住環境の改善が図られつつあります。
- 国道126号、356号沿道では、適正な沿道施設利用が進むとともに、大規模商業施設がある三崎地区では近隣市町から多くの人々が訪れ、市民の週末の買い物やDIYなどの趣味活動等に機能するとともに、中心市街地との連携も活発に行われ、お互いの地域が人の賑わいを補完しあう取り組みがされています。
- 市街地周辺では、農地や斜面緑地が保全・継承され、市街地を縁取る緑陰空間や眺望景観が形成されるとともに、一部では耕作放棄地などを活用した再生可能エネルギー産業の誘導がみられます。

【都市交流核（中心市街地）の活性化概念図】



(写真：銚子市観光協会等より)

3 西部地域

① 地域の概況

(1)位置と地勢

本地域は、市域の西部に位置し、中央地域と同様に、北側は利根川に面し、南側は下総台地が広がり、屏風ヶ浦の断崖が連なるかたちで太平洋に接しています。

利根川沿いは、中央地域と連続した平坦地で、国道 356 号をはじめとした市域の骨格をなす道路沿線などを中心に集落が点在しており、その周囲に水田や畑地が混在するかたちで広がっています。

地域の南部は下総台地の丘陵地で、丘陵地の平坦部においてはキャベツ・ダイコン栽培を中心とした畑地帯が広がっています。一方、起伏がある山林や谷津地も多く見られ、かつて谷津地で耕作していた水田の多くが耕作放棄地となっています。また、本地域一帯には風力発電の施設が立地しています。また、国道 126 号沿線近くには小浜工業団地が立地しています。

なお、旭市及び東庄町に接する丘陵地には、約 70ヘクタールに及ぶ豊里住宅団地が形成されています。



(2)人口と土地利用

〔人口・世帯数〕 住民基本台帳（平成 25 年 4 月 1 日現在）

○人 □	13,232 人
○世帯数	4,674 世帯
○高齢化率	27.21%

〔土地利用〕

○市街地外	・全域にわたり、平坦部は水田地帯と住宅地、丘陵地帯においては畑地帯と山林及び住宅地、集落地が分散して分布
-------	--

(3)交通

〔道路〕

○広域幹線道路	・国道 国道 126 号、国道 356 号
	・主要地方道 銚子海上線
	・一般県道 銚子波崎線（利根かもめ大橋）
	・広域農道 広域営農団地農道（建設中）
	・銚子連絡道路（計画中）
○都市内幹線道路	・主要地方道 銚子旭線、多古笹本線
	・一般県道 飯岡猿田停車場線、飯岡松岸停車場線
	・主要市道

〔公共交通〕

○鉄道	・JR 総武本線 猿田駅
	・JR 成田線 椎柴駅、下総豊里駅
○高速バス	・銚子～東京駅・浜松町線、銚子～千葉・幕張線
○路線バス	・旭～銚子線、豊里ニュータウン線

(4)主要施設及び地域資源

〔主要施設〕

- 教育施設
 - ・幼稚園 船木幼稚園、豊里幼稚園
 - ・小学校 船木小学校、椎柴小学校、猿田小学校、豊里小学校、豊岡小学校
 - ・中学校 第六中学校、第七中学校
 - ・保育施設 東光保育園、萌保育園
- 公共公益施設
 - ・保健福祉施設 特別養護老人ホーム松籟の丘、さざんか園、老人ホームシオン銚子
 - ・文化施設 新国立劇場舞台美術センター資料館
 - ・消防、警察 西部分遣所、豊里駐在所、豊岡駐在所 ほか
 - ・その他 市役所西部支所、豊里出張所、豊岡出張所、各地区コミュニティセンター

〔地域資源〕

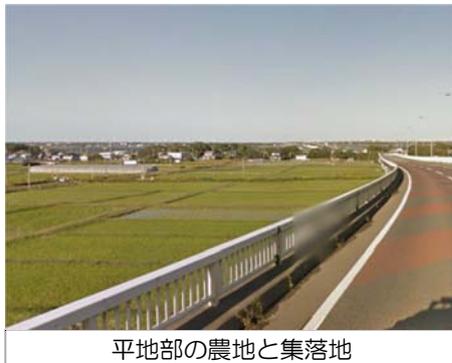
- 観光資源
 - ・桜井町公園、豊里台緑ヶ丘公園、豊里台多目的スポーツ広場、レインポーヒルズCC ほか
- 自然環境
 - ・利根川（河川敷）、丘陵地及びそれを縁取る斜面緑地、猿田神社の森
- 歴史資産
 - ・猿田神社、常世田薬師（常灯寺）、菅原大神（子産石）、余山貝塚 ほか

② 地域の現状と課題

(1) 土地利用

【現状】

- 本地区は、利根川に面した平地部には集落地や水田が広がり、丘陵部は畑地とともに豊里住宅団地や集落地が分布しています。
- 丘陵地にある谷津田は、畑地や平地部にある水田と比較して遊休農地化が進んでいます。
- 新町の JA グリーンホーム銚子は農産物の生産供給基地としての役割を担っています。
- 国道 126 号沿線近くにある小浜工業団地には多数の工場が立地しています。
- 新国立劇場舞台美術センター資料館は、学術・芸術文化交流拠点として位置づけられています。
- 丘陵地には風力発電施設や太陽光発電施設が点在しています。



平地部の農地と集落地

【課題】

- ◆中心市街地との連携
- ◆良好な居住環境や優良な自然環境の保全に向けた取り組み
- ◆産業交流拠点である JA グリーンホーム銚子周辺の機能強化と観光との連携
- ◆優良農地の保全と遊休農地の適正利用

(2) 都市施設（道路・交通、公園・緑地等）

【現状】

○広域幹線道路

国道 356 号は香取市・東庄町方面及び中心市街地へ通じる広域幹線となる道路であり、利根川と並行して走っています。利根かもめ大橋～芦崎町区間（約 3km）ではバイパス整備が完了し、今後は芦崎町～大橋町区間のバイパス整備により、交通利便性の向上が期待されます。

国道 126 号は旭市方面及び中心市街地へ通じる広域幹線として重要な道路です。交通量増加時には断続的に渋滞が発生していますが、八木地区にバイパス整備が進められています。

主要地方道銚子海上線及び銚子波崎線（利根かもめ大橋）が旭市～銚子市～神栖市間を結んでいます。

丘陵地には広域営農団地農道が建設中で、銚子連絡道路も建設に向け計画が進められています。

○都市内幹線道路

都市間や地域間を連絡する道路網として、飯岡松岸停車場線や銚子旭線など主要地方道や県道、



国道 356 号バイパス
（利根かもめ大橋付近）

市道が機能しています。

○公共交通機関

鉄道は本地域の西部地区に JR 総武本線猿田駅と JR 成田線椎柴駅及び下総豊里駅があり、路線バスは、豊岡地区に JR 銚子駅から旭駅への路線、西部地区には銚子駅から豊里ニュータウンへの路線が運行されています。また、銚子～東京間的高速バスが、豊岡地区には旭ルート、西部地区には佐原、小見川ルートとして運行されています。

○公園・緑地

桜井町公園は運動公園として、大人数が利用できる遊具広場や芝生広場、グラウンドなどが整備されています。そのほかに豊里台緑ヶ丘公園、豊里台多目的スポーツ広場などが配置されていますが、豊里台地区以外の地域では近隣住民向け公園の計画的な配置が求められます。

【課題】

- ◆集落地における道路整備や、バランスのとれた公園配置
- ◆銚子連絡道路及び広域営農団地農道の整備促進
- ◆都市間や地域間を結ぶ道路の改良、整備とともに、歩道や交通安全施設の整備による安全対策
- ◆公共交通機関の運行維持
- ◆既存公園の整備・管理の推進

(3) 都市環境（防災・防犯、下水道等）

【現状】

- 利根川河岸に近接する地域は、洪水や河川遡上した津波による浸水被害が想定されますが、築堤が計画的に進んでいます。
- 地震による液状化に注意を要する箇所が、利根川河岸に近接する地域に存在します。
- 急傾斜崩壊期危険区域に指定された地区はありますが、その対策は進んでいます。
- 集落地が形成される地区では、生活道路の幅員や公園・広場等の配置が進んでいない箇所がみられます。
- 利根川流域や丘陵地帯に住宅地や集落地が分布しており、農業用水路への生活排水の流入による水質汚濁が懸念されています。
- 丘陵地などに風力発電施設が点在し、太陽光発電施設も増加しています。



JR 椎柴駅周辺の住宅地

【課題】

- ◆がけ崩れや浸水に対する防災対策
- ◆利根川近接地域の洪水及び津波対策
- ◆集落地等における汚水処理設備（合併処理浄化槽）の普及促進
- ◆不法投棄の監視、廃棄物の適正処理など環境対策の推進
- ◆保水、遊水機能の向上に向けた農地や緑地の保全

(4)自然・歴史環境

〔現 状〕

- 郷土環境保全地域に指定された猿田神社の森や常世田薬師（常灯寺）、菅原大神をはじめとする歴史資産が分布し、豊里住宅団地には、文化拠点に位置づける新国立劇場舞台美術センター資料館が建設されています。
- 利根川河川敷には葦等の植生や希少動植物がみられ、自然豊かな水辺空間が広がっています。
- 丘陵地及びそれを縁取る斜面には緑豊かな自然が広がっています。



新国立劇場舞台美術センター資料館

〔課 題〕

- ◆地域の歴史資産と文化財の保全と継承
- ◆利根川周辺の自然環境の保全と観光交流としての活用

(5)都市景観形成

〔現 状〕

- 豊里台地区には豊里住宅団地が広がり、道路、公園等の都市基盤は整備され、その地区内には医療福祉施設や新国立劇場舞台美術センター資料館が設置されています。また、地区内を走る市道沿いには桜などの街路樹が植栽されています。



豊里住宅団地

〔課 題〕

- ◆豊里住宅団地における統一感のあるまちなみの形成

③ 地域づくりの目標とまちづくりの方針

(1) 地域づくりの目標

〔将来地域像〕

『農業を中心とした産業と豊かな自然環境を活用した交流のあるまち』

〔地域づくりの目標〕

- 豊かな自然や歴史資産などの保全と地域資源を活用した交流あるまちづくり
- 地域の産業拠点を活かした活力あるまちづくり
- 生活環境の維持、改善によるやすらぎのあるまちづくり

(2) まちづくりの方針

〔豊かな自然や歴史資産などの保全と地域資源を活用した交流あるまちづくり〕

○自然環境・景観の維持・保全と活用

- ・ふるさとの原風景ともいえるような水田など豊かな自然環境の維持、保全に努め、集落地と調和した空間の創出を図っていきます。
- ・丘陵地や農地、利根川流域など豊かな自然を活用したグリーンツーリズムなどの取り組みを推進していきます。
- ・水郷筑波国定公園に指定されている利根川流域及びその支流の緑地、水辺環境の保全を図るとともに、散策路や自転車の整備により自然緑地内を巡る水と緑のネットワーク化を進めます。

○歴史資産の保全と活用

- ・猿田神社や常世田薬師（常灯寺）、菅原大神の子産石など歴史資産、文化財の保全に努めるとともに、観光資源としても有効に活用し、交流人口の増加を図ります。

○公園・オープンスペースの活用・整備

- ・桜井町公園や豊里台多目的スポーツ広場の公共オープンスペースを地域・スポーツイベントなどに活用するとともに、利根かもめ大橋周辺の河川敷の活用検討など地域バランスを考慮した公園・緑地の計画的整備、利用環境の充実を図ります。



国道 356 号バイパスからの眺望



桜井町公園

■主な施策

- ◆丘陵地や農地、利根川流域など豊かな自然の保全と活用、水辺環境の充実
- ◆猿田神社や常世田薬師（常灯寺）、菅原大神の子産石など歴史、文化資源の保全と活用
- ◆桜井町公園や豊里台多目的スポーツ広場、利根かもめ大橋周辺の河川敷の有効活用
- ◆公園・緑地の計画的整備、利用環境の充実

〔地域の産業拠点を活かした活力あるまちづくり〕

○産業交流拠点・農業生産基盤の強化

- ・ JA グリーンホーム銚子周辺を産業交流拠点と位置づけ、広域営農団地農道の整備による広域交通条件を活かした首都圏に対する農産物の供給基地としての集出荷機能強化を図ります。また、優良な農地の土地基盤整備や農地集約化など経営基盤の強化も図ります。
- ・ 農業を通じた食育や体験学習型の関連産業誘導により、遊休農地の有効活用、地域製品の付加価値向上や新たな雇用の創出などを推進します。
- ・ 国道 126 号バイパス及び銚子連絡道路の整備により物流利便性の向上が期待できる「小浜工業団地」は生産環境の保全・整備に努めつつ、更なる関連施設の誘導による雇用促進・地域の活性化を図ります。

○新たな産業系土地利用の検討

- ・ 丘陵地では周辺の自然環境との調和を図りながら風力発電施設や太陽光発電施設など再生可能エネルギー産業などの新たな産業系土地利用を検討します。

■主な施策

- ◆ 広域営農団地農道、国道 126 号バイパス、銚子連絡道路の整備推進
- ◆ 産業交流拠点の強化（JA グリーンホーム銚子、小浜工業団地）
- ◆ 農地の土地基盤整備や農地集約化など経営基盤の強化
- ◆ 再生可能エネルギー産業などの新たな産業系土地利用の検討

〔生活環境の維持、改善によるやすらぎのあるまちづくり〕

○地域特性に応じた土地利用及び景観の誘導

- ・ 豊里住宅団地は、道路・公園など整備済みの都市基盤を有効活用しながら、既存の医療・福祉施設を核に、高齢者や子供が安心して暮らせる地域コミュニティづくりを推進します。また、統一感のあるまちなみを形成するため、住宅建築のルール化や都市計画制度の適用、街路樹の緑化美化活動など市民と協働で検討します。
- ・ 国道 126 号沿線と国道 356 号沿線は、中心市街地との連携を強化しつつ、沿道商業・業務サービス系の土地利用を誘導し、秩序ある良好な沿道景観の形成を図ります。



国道 356 号と沿線施設

○交流を育む交通網の充実

- ・ 国道 356 号バイパスの整備による渋滞軽減など、船木・椎柴・豊里地区からの中心市街地への交通利便性の向上を図ります。
- ・ 広域営農団地農道の整備により、西部地区からの広域交流拠点（三崎町）への交通利便性の向上を図り、交流人口の拡大につなげます。
- ・ 高齢者や子供などの日常生活の移動手段として、路線バスの運行維持を図ります。また、バス路線の無い地域では、デマンド交通導入など地域交通のあり方を検討します。

○居住環境の維持と安心して暮らせるまちづくり

- ・ 地域内の各集落は良好な居住環境を維持するため、市道などの基盤整備の改良に努めます。
- ・ 公共公益施設は災害時の避難所として耐震化・不燃化を図ります。また、各地区コミュニティセンターや豊里出張所、豊岡出張所など地域の活動拠点となる施設は、利用者の利便性・快適性を図るため、歩行空間の確保やバリアフリー化を推進します。
- ・ 利根川の津波遡上など自然災害への備えとして利根川の築堤、中小河川整備や排水施設整備による水害対策を推進します。また、急傾斜地崩壊危険区域での土砂災害の防止を図ります。
- ・ 下水処理については、汚水処理適正化構想を踏まえ、下水道整備や合併処理浄化槽の普及により適正な下水環境を推進します。
- ・ 安全で安定した水供給のため、老朽化した配水管等の適正な施設更新を進めます。

■主な施策

- ◆生活関連施設の充実（豊里住宅団地、既存集落における市道改良など）
- ◆国道 356 号バイパスの整備
- ◆バス路線の維持と生活交通対策の検討
- ◆利根川の築堤、中小河川整備や排水施設整備
- ◆通学路等の交通安全対策の推進



国道 356 号バイパスと利根かもめ大橋（イメージ）



- 豊かな自然や歴史資産などの保全と地域資源を活用した交流あるまちづくり**
- 自然環境・景観の維持・保全と活用
 - ・豊かな自然景観の維持・保全
 - ・利根川流域及びその支流の緑地、水辺環境の保全と充実
 - ・水と緑のネットワーク化
 - 歴史資産の保全と活用
 - ・歴史資産、文化財の保全
 - ・観光資源としての交流人口の拡大
 - 公園・オープンスペースの活用・整備
 - ・公園、スポーツ広場等の活用
 - ・利根かもめ大橋周辺の河川敷の活用検討
 - ・公園、緑地の計画的整備

- 生活環境の維持、改善によるやすらぎのあるまちづくり**
- 地域特性に応じた土地利用及び景観の誘導
 - ・豊里住宅団地での高齢者や子供が安心して暮らせる地域コミュニティづくり
 - ・沿道商業・業務サービス系の土地利用誘導
 - 交流を育む交通網の充実
 - ・国道126号バイパス、国道356号バイパス整備
 - ・広域営農団地農道の整備
 - ・路線バスの運行維持と地域交通のあり方検討
 - 居住環境の維持と安心して暮らせるまちづくり
 - ・市道などの基盤整備の改良
 - ・公共公益施設の耐震化・不燃化、バリアフリー化
 - ・利根川の築堤、中小河川の水害対策
 - ・通学路等への交通安全対策

- 地域の産業拠点を活かした活力あるまちづくり**
- 産業交流拠点・農業生産基盤の強化
 - ・産業交流拠点の強化
 - ・農地の土地基盤整備など経営基盤の強化
 - 新たな産業系土地利用の検討
 - ・再生可能エネルギー産業などの土地利用の検討

凡例

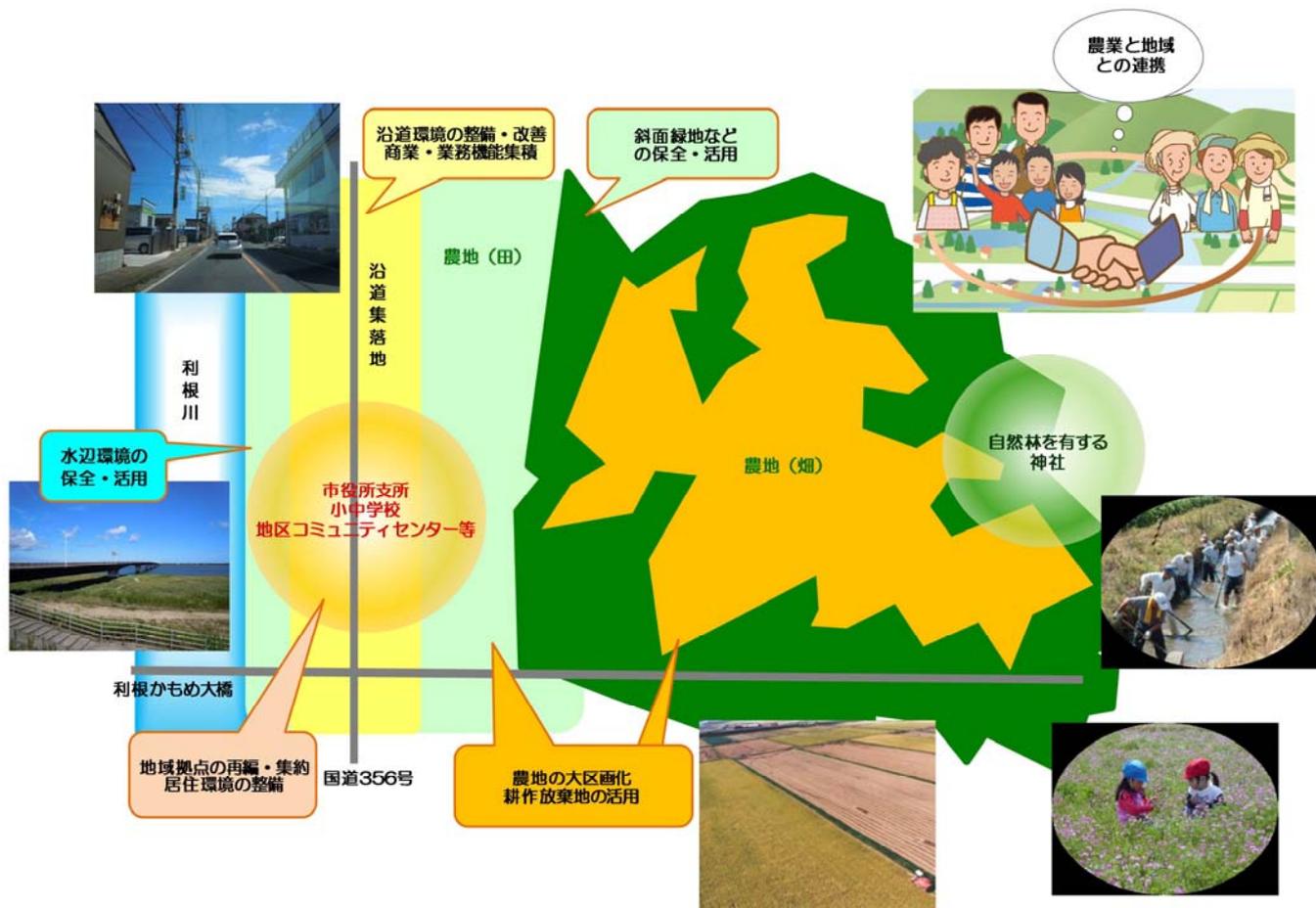
住宅地	商業業務地	沿道サービス地	工業・産業業務地	農地	集落地	丘陵地・森林	斜面緑地	主な公園・緑地	国定公園区域	県立自然公園	鉄道	広域幹線道路	都市内幹線道路	行政区界	地域界	用途地域	都市交流核	広域交流拠点	産業交流拠点	観光交流拠点	学術・芸術文化交流拠点	主要な施設	学校教育施設	歴史文化資産	水と緑のネットワーク
-----	-------	---------	----------	----	-----	--------	------	---------	--------	--------	----	--------	---------	------	-----	------	-------	--------	--------	--------	-------------	-------	--------	--------	------------

図 西部地域のまちづくり方針

【参考：20年後の西部地域のイメージ】

- 道路の骨格をなす国道356号バイパスの整備が中心市街地から東庄町・香取市方面まで継続的に進められたことにより、朝夕の交通渋滞の解消とともに、北関東方面からの広域交通の利便性が高まり、観光や産業経済の活性化が進んでいます。また、広域営農団地農道なども整備され、地域における骨格的な幹線道路網が構築されるなど、周辺地域や市内各地域とのアクセスが容易となりました。また、地域の公共交通では、JR 総武線・成田線・高速バスのほか、拠点集落を結ぶコミュニティバスが走り、高齢者等の日常の移動手段として活用されています。
- 国道沿道における沿道商業・業務施設の整備が進み、日常的な生活に不便を感じなくなりました。また、住宅団地や集落地では、かけ崩れや浸水・津波対策などが進められるとともに、住民と協働による都市計画制度の活用や集落地区計画制度の活用、生活道路の整備や公園・広場の整備などが進められ、暮らし続けられる環境づくりが整いつつあります。
- 産業交流拠点である「小浜工業団地」や「JA グリーンホーム銚子」では、幹線道路網の整備による利便性の向上を背景として、関連施設の誘導による雇用促進と地域の活性化が進んでいます。
- 農業地域では、基盤整備事業等による農地の保全や集約化に加え、耕作放棄地の活用が進められるとともに、畑地での野菜工場の立地など、若い就農者や後継者を中心とした活発な農業生産が行われています。また、市内や首都圏の小学生を対象とした農業体験学習や農業ふれあい教室、家庭菜園による農業を通じた多様な交流が進んでいます。
- 丘陵地では、丘陵地を縁取る斜面緑地が保全されるとともに、一部の緑地などでは自然探索や学習の場、再生可能エネルギー産業の適地として活用が図られています。

【「農と緑のある暮らし」概念図】



(写真・挿絵：農林水産省主要事業パンフレットより)

